

令和5年度宮崎県普及指導活動外部評価会の結果報告資料

普及センター名 東臼杵南部農業改良普及センター
 プロジェクト名 次世代に引き継ぐ魅力ある中山間地域づくり

主な意見・提案	計画の評価	<p>○各課題に対して、きめ細かく計画や目標が設定されている点は適切である。</p> <p>○プロジェクトに対し、地域の実情を適切に反映した課題設定がなされている。農業法人や「半農半X」農家も主要プレイヤーと認識し、「受託・分業」という手法を中心課題に据えている点が、実現可能性を高めていると感じられる。</p> <p>○成果目標として「地域農業振興モデル策定数」を設定し、目標をR7年度に「4つのモデルを策定すること」としており、R5年度時点で最終的な成果目標を達成すると思うが、この目標値が適切であったかについては多少疑問あり。</p>
	活動の評価	<p>○生産から加工まで、様々なグループを対象とし、地元企業や地域住民等と連携した活動を展開されている点は評価できる。</p> <p>○課題全般について着実な取組がなされていると認められる。</p>
	成果の評価	<p>○到達目標のモデル数達成が確実であり、順調に進捗していると認められる。</p> <p>○本事業が取り組む4つのモデルが効果を上げることは、人口減少と高齢化が不可避な地域全体への大きな波及が期待できる。</p>
	総合評価・その他	<p>○中山間地域の広域プロジェクトとして、現場課題を的確に捉えた活動だと評価できる。</p> <p>○農業・農村でも稼げるビジネスモデルを確立し、県外からの農業参入も積極的な推進を期待する。</p> <p>○今後、地域ごとの魅力を生かした取組や発信がさらに進むことを期待している。</p>
普及活動等への対応方針	<p>計画初年度（令和3年度）に設定した令和7年度の成果目標「地域農業振興モデル策定数」は大きく4モデルとしており、令和4年度までに資料P8に記載しております「①多様なライフスタイルに応じた所得の確保モデル」と「④労働力調整の仕組みづくりモデル」については、具体的なモデルを策定したところです。</p> <p>今後は、「②農地や園地を守る仕組み作りモデル」と「③有形・無形資源の円滑な継承モデル」の確立に向け活動を進めるとともに、新たな具現モデルの構築に努めてまいります。</p> <p>また、令和4年度までの成果目標の実績は、栽培品目が核となっているが、今後は、農業者のより多様な取組が広がるよう、地域全体を捉えた体制構築や法人支援（資料P33～34を参考）など、引き続き、関係機関・団体と連携し、市町村毎の実情に応じた地域農業振興モデルの確立に向け、邁進したい。</p>	

普及センター名 東白杵南部農業改良普及センター
プロジェクト名 中山間地域の産業に寄与する茶産業の活性化

主な意見・提案	計画の評価	<ul style="list-style-type: none">○「中山間地域の産業に寄与する茶産業の活性化」に向け、適切な課題設定がなされている。○年度別計画に、「特徴ある茶の生産量」・「諸塚式ウーロン茶生産体制実施工場数(開設までの行程)」を取り込み、到達目標達成に向けたプロセスを可視化することが望ましい。
	活動の評価	<ul style="list-style-type: none">○SNSを活用した情報の共有や出荷量の予測など生産者の負担軽減につながる取組と考える。一方で、生産者には今後連携予定ということで、高齢農家等に向けてどのように進めるか工夫が必要。○課題全般について着実な取組がなされていると認められる。
	成果の評価	<ul style="list-style-type: none">○到達目標達成に向けて順調に進捗していると認められる。○「予測システム」実用への進化や育苗や二番茶利用などの営農モデルの定着は地域全体への大きな波及が期待できる。
	総合評価・その他	<ul style="list-style-type: none">○茶産業が厳しい状況の中、地域の特色等を生かした官民一体となった取組であると認められる。○烏龍茶だけでなく、近年紅茶も人気があり、良いものを高く買う風潮は高まりつつある。これら品目はブランド化に繋げやすい品目であることから、今後の展開に期待する。○消費者への露出を増やしていくことで徐々に人気が高まることを期待する。そのためにも安定した収量や品質の良い商品づくりが求められる。○地域の所得向上に向け、地域や関係者が一丸となった取り組みが進展していると評価できる。
普及活動等への対応方針	<p>茶業は、全国的に厳しい状況が続いているが、当地域の特徴ある茶生産を維持するためにも、本プロジェクトで着目している「地域ならではの受託体制」やこれまで活用されてこなかった二番茶での「ウーロン茶製造手法」の確立を行い、生産量の増加＝茶生産者の所得アップにつながるよう引き続き取り組む。新商品開発では、さらなるブラッシュアップを進めるとともに、全国の品評会出展等も活用しながらPRを強化するなど、町村やJAと一体となって支援していきます。</p> <p>また、「生産量」については、今後の年度目標になるよう検討するとともに、生産者によりわかりやすい受託体制となるような、取組や将来像の見える化に努めていきます。SNS（スプレッドシート）を活用した出荷量予測等の取組については、JA及び生産部会と調整した上で、高齢農家等でも活用できるよう、配慮したいと思います。</p> <p>なお、令和5年度には、中山間の基幹産業の一つとなるよう茶業の方向性の検討を始めたところであり、今後は、高齢でもより長く茶業に携わることが出来る体制づくりなど、当地域ならではの茶産地の再編に引き続き取り組んでいきます。</p>	

普及センター名 東白杵北部農業改良普及センター

プロジェクト名 活力ある農業・農村地域確立のための多様な担い手の育成とサポート機能の強化

主な意見・提案	計画の評価	○「活力ある農業・農村地域確立のための多様な担い手の育成とサポート機能の強化」に向け、新規就農者の確保育成は最も重要な適切な課題設定と思われる。一方で、「認定」に限定せず、特定地域づくり事業協同組合を含む法人就農を「次善の」成果目標に設定し取り組むことは、地域の担い手確保に奏効するのではないか。
	活動の評価	○労働力確保に向けたアプリの活用や農福連携など多様な取り組みは評価できるが、普及はこれからということで今後期待したい。 ○課題全般について着実な取組がなされている。 ○「就農に向けた円滑な施設整備の支援」を融資関係部署を含め、ワンストップで取り組む体制を構築している点は高く評価できる。
	成果の評価	○令和5年度の見込みを勘案すれば、到達目標達成に向け順調に進捗していると評価できる。 ○認定農家や農業機械オペレーターの育成は、地域農業の持続可能性を高めることが十分に期待できるため、地域全体への大きな波及が期待できる。
	総合評価・その他	○労働力マッチングシステムは他地域にとっても参考となる取組と認められる。 ○労働力確保は農業全体の課題であるが、柔軟な労働時間の設定等、他業種が真似できない働き方の提案ができるのも農業の強みと考える。 ○地域の所得向上に向け、地域や関係者が一丸となった取り組みが進展していると評価できる。
普及活動等への対応方針	<p>本プロジェクトでは、多様な担い手の育成に向け、自営や雇用就農、規模の大小に関わらず様々な形態の就農相談や、その後の研修・就農支援を実施しており、その対象者の中から農業経営基盤強化法に基づき「青年等就農計画」を策定して農業に取り組む「認定新規就農者」について、特に重点的な普及活動を行っております。今後さらに担い手の減少が進む中、移住者を含む多様な就農ルートからの人材の取り込みや、地域農業を支える新規就農者の確保・育成に向けた取組や仕組みづくりに、幅広い視点を持って関係機関・団体と連携して取り組んでまいります。</p> <p>労働力確保に関しては、延岡市労働力確保対策協議会(市、JA、障がい者自立支援協議会、地元大学、県等で構成)と連携し、マッチングシステムの周知や登録者数の拡大に努め、農作業見学会や体験会、農業機械オペレーター養成研修会等を通じた作業受委託の促進についても継続して取り組んでまいります。また、農業機械オペレーターの利用調整を行うための仕組みづくりに向け支援していきます。</p>	

普及センター名 東白杵北部農業改良普及センター
プロジェクト名 延岡たまねぎの新たな生産・出荷体制の確立

主な意見・提案	計画の評価	○「延岡たまねぎの新たな生産・出荷体制の確立」に向けて適切な課題設定がなされている。
	活動の評価	○機械化体系が完成することで、作業の効率化、人手不足解消が大きく前進することが期待できる。 ○課題全般について着実な取組がなされていると認められる。 ○新品種や低コスト肥料の採用、オペレーターを活用した作業受託法人の育成等、地域課題解決に向け「的を射た」課題に取り組む活動は高く評価できる。また、令和2年度の外部評価会で確認された課題の解決策が着実に進捗している点も評価できる。
	成果の評価	○新鮮でおいしい「みやざき新玉ねぎ」を生産者が安定して作り続けることができるよう様々な支援を期待する。 ○成果目標達成の前提となるいくつかの課題が着実に進展しており、到達目標達成に向け順調に進捗していると評価できる。 ○新たな生産・出荷体制が確立されれば、地域農業の持続可能性、所得向上を高めることが可能であり、地域全体への大きな波及が期待できる。
	総合評価・その他	○今後、機械化は必須の取組であり、その先進事例として、県内に普及できることを期待する。 ○農業は、破壊的イノベーションが起きにくい業界だが、一つ一つ積み重ねていくことで、大きなビジネスモデルになりうると考える。 ○産地構造の根本的な変革に向け、地域や関係者が高い視点で取り組んでいると高く評価できる。
普及活動等への対応方針	<p>部会員の高齢化や担い手の減少、気象の影響等により、産地規模が縮小傾向にある中、延岡地域に適した水田裏作品目としてのたまねぎの収益性向上や、地域ブランド品目としての産地規模の維持・拡大を図る必要があります。</p> <p>本プロジェクトでは、これまで、関係機関・団体と連携した現地実証により、苗の安定生産や肥培管理の低コスト化、直播栽培の整備等に取り組み、植付けから収穫までの一連の機械化に道筋をつけ、水田裏を大規模に活用した栽培体系や、生産者がこれからも継続して生産できる体制づくりに取り組んできました。</p> <p>今後さらに、大面積の作付けが可能な法人・若手生産者の育成や、機械作業体制整備を支援し、栽培面積・生産量の拡大を図るとともに、中小規模の生産者の面積拡大の制限要素となっている移植・収穫作業の受託体制づくりを進めてまいります。また、生産安定かつ良食味の新たな極早生品種の選定や、プレミアム販売、地域内の業務需要への販路確保などJ A と連携し、単価向上・安定のための販路拡大に取り組んでいきます。</p>	

普及センター名 西白杵農業改良普及センター
プロジェクト名 農業の新たな担い手の確保

主な意見・提案	計画の評価	<ul style="list-style-type: none">○トレーニングシステムや導入しやすい品目の設定、交流会の企画など新規就農者ひとりひとりに寄り添う支援の計画が立てられていると認められる。○「農業の新たな担い手の確保」に向けて適切な課題設定がなされている。○「半農半X」や定年帰農者もターゲットと捉え、高い目標を掲げる姿勢を高く評価する。
	活動の評価	<ul style="list-style-type: none">○課題全般について着実な取組がなされている。○高千穂ファーマーズスクールの手厚い人材育成支援体制は高く評価できる。本スクールや青年農業者の資質向上の連携先が市町村とJAのみであるが、試験研究機関や民間とも連携し、違う視線からのカリキュラムを取り入れることも検討の余地があると考ええる。
	成果の評価	<ul style="list-style-type: none">○チャレンジな目標設定であり簡単ではないが、到達目標達成に向け着実に前進していると評価する。○新規就農者の増加や中核農業者のスキルアップは地域全体への大きな波及が期待できる。
	総合評価・その他	<ul style="list-style-type: none">○高千穂ファーマーズスクールは良い研修システムであり、他地域への波及を期待する。○西白杵は魅力的な地域であることから、富裕層をターゲットとした「半農半X」での就農促進など、視点を変えた展開も期待できる。○魅力あふれる地域として、行政や観光など様々な団体と連携しながら、地域全体の魅力発信を続けていくことを期待する。○農業者、普及センター、地域や関係者が一体感を持ってプロジェクトに取り組んでいると評価できる。課題として「耕畜連携」を上げられていたが、地域全体の所得向上に繋がる取組であり、今後の進展を期待する。○多様な担い手の確保のため「特定地域づくり事業協同組合」制度の活用検討に取り組まれているが、「半農半X」のみならず、脱都会志向や自分探し若者の受け皿として有効な制度と評価している。既に成果の上がっている自治体もあることから、今後の展開に期待する。
普及活動等への対応方針	<p>高千穂ファーマーズスクールについては、御意見いただいた民間等との連携も含め、研修体制の強化に向けた支援に取り組むとともに、得られた運営ノウハウ等も生かしながら、他の2町における就農トレーニングの仕組みづくりをコーディネートしていきます。</p> <p>人口急減にある中山間地域では、多様な担い手の確保がより重要となるため、国の制度等も活用しながら、御意見いただいた脱都会志向や田園回帰の流れを西白杵地域に呼び込むための仕組みづくりに向けた支援に努めてまいります。</p>	

普及センター名 西臼杵農業改良普及センター

プロジェクト名 6次産業化の充実と産業間連携による農村地域の所得の確保

主な意見・提案	計画の評価	○「6次産業化の充実と産業間連携による農村地域の所得の確保」に向けて適切な課題設定がなされている。地域の商工業者や消費者との連携による「商品の磨上げ」を目標としていることを高く評価したい。
	活動の評価	○課題全般について着実な取組がなされている。
	成果の評価	○新たに開発・改善された商品数が令和4年度で4商品であるが、この取り組み、視点・思考が定着するにつれて成果数は遡増すると思われ、到達目標達成に向け順調に進捗していると評価する。 ○6次化の成功は、地域の所得向上と経済循環の拡大につながることから、地域全体への大きな波及が期待できる。
	総合評価・その他	○観光と農業が注目されている今、良いプロジェクトだと考える。西臼杵の特長を生かした商品が開発されることを期待したい。 ○宮崎のブランド価値を高千穂が牽引することを期待したい。 ○GABA烏龍茶は今後期待できる商品だと考える。収量の確保、販路拡大、また商品発信など、各団体と連携し普及することを期待する。 ○地域や関係者が地域課題を共有し、一体感を持ってプロジェクトに取り組んでいると評価できる。 ○既存の「強み」を強化し、所得向上を目指すことは経営戦略の王道であるが、既存の延長ではない他の方法を模索する等の取組も検討の余地があると考ええる。
普及活動等への対応方針	6次化の取組については、観光や神話など西臼杵地域ならではの切り口からの検討等をコーディネートし、御意見いただいた西臼杵の特長を生かした商品づくりにつなげていきます。 GABA烏龍茶については、引き続き、生産・販売対策を総合的に支援し、これまで着実に積み上げてきた製造技術・ノウハウなど西臼杵地域の強みを生かしたブランド化を支援してまいります。 いただいた御意見も踏まえ、西臼杵地域の新たな価値を見出すなど農業所得の向上に向けた幅広い議論を促してまいります。	